

大阪グリーン購入ネットワーク

OSAKA GREEN PURCHASING NETWORK

環境への負荷が小さい製品やサービスの優先的購入を進めます。-「買う」から始めるエコ。



●グリーン購入とは

購入の必要性を十分に考慮し、品質や価格だけでなく環境のことを考え、環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを、環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入することです。

●市場を通じて産業のグリーン化を促します

グリーン購入が広がれば、環境配慮型のマーケットが拡大し、企業に環境負荷の小さい製品開発を促すこととなります。又、環境に積極的な企業を支援することにもなります。

●誰でも、今すぐできる地球環境保全への取り組みです。

どのような企業や行政機関、家庭でも毎日何らかの製品やサービスを購入しています。グリーン購入は、誰でも今すぐに取り組むことができます。

●法律にも裏付けられた取り組みです

2001年4月施行のグリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）では国の機関はグリーン購入に取り組むことが義務、地方自治体は努力義務、事業者や国民にも一般的責務があると定められています。



大阪からグリーン購入活動を充実させましょう。

大阪グリーン購入ネットワークの活動とは

大量生産・大量消費の社会システムを前提とした人間の社会活動そのものが今、地球環境の破壊・汚染をもたらし、深刻な影響を及ぼしていることを多くの人々が認識し始めています。地球本来の恵み豊かな環境を将来の世代に引き継いでいくため、私たちは、当たり前とらえがちな生活様式や事業活動を見直し、より環境負荷の小さい、持続可能な循環型社会にしていく責務を負っています。

私たちが、そのために今すぐ取り組むことのできる重要な行動の一つに「グリーン購入」があります。グリーン購入とは、製品やサービスを購入するとき、まず必要性を十分に考え、価格や品質だけでなく、環境への視点を重視し、環境への負荷ができるだけ小さいものを選んで優先的に購入することで、このグリーン購入を進める私たちの行動が、市場を通じて、

製造・販売業者側に環境に配慮した商品の開発、供給を促すことにもなり、持続可能な循環型社会の構築において重要な役割を担います。

グリーン購入を広く普及させるためには、都市に生活する全ての主体間の連携が不可欠です。このため、「大阪グリーン購入ネットワーク」の設立を市民、行政、民間事業者、大学、試験研究機関、環境NGO・NPOに対し、広く呼びかけていくことといたしました。

私たちは、グリーン購入ネットワーク(GPN)と連携しながら、大阪の身近なグリーン商品・サービスの情報発信と、購入する側と製造・販売する側のお互いの意見、情報を積極的に交換しながら、購入する立場の意見が、事業者の製造・販売活動に反映されていく活動を目指します。

活動方針

大阪GPNは2012年1月に設立されました

- 1 地域とのつながりを大切にしながら、環境に配慮した製品・サービスを普及させる活動を行い、グリーン市場を拡大します
- 2 環境に配慮した製品・サービスを提供している事業者の活動を応援します
- 3 消費者と事業者、行政などの意見・情報の交換を積極的に行います
- 4 学校、企業、消費者を対象とする環境学習活動を協働で行い、「グリーン購入」の理解者を増やしていきます

グリーン購入ネットワーク(GPN)と連携

グリーン購入ネットワーク(GPN)は、全国9地域にネットワークを設立しています。大阪グリーン購入ネットワークは、各地域ネットワークやGPNの本部と連携しながら、活動を進めます。



Message

理事長 池上俊郎 NPO法人エコデザインネットワーク 理事長



私たちの何気ない日常活動に伴い発生する温暖化ガスや、様々なごみ・廃棄物など、環境負荷が拡大していることはよく知られていることです。2007年夏の北極海海水氷が最小面積となる頃から、「気候変動を戻すことができない地点・ティッピングポイントに到達する」と言われて時が過ぎていきます。偏西風の蛇行に伴う異常気象の増加は、すでに各地で日常化しています。経済活動の原点にある商品・サービスの購入を、グリーン化・環境負荷を削減し、人間活動を自然社会との共生に向けて行動が「グリーン購入」です。

グリーン購入ネットワークは、1996年以来、環境に配慮した生産と消費社会の実現を、グリーン購入による市場の普及拡大を通じて追求してきました。企業の製造論理と消費行動のしくみに、科学的な根拠を与え、環境負荷を削減する試みを展開しています。行政・事業者・市民の運動体として、有効な活動を果たしてきました。このたび、大阪府・大阪市をはじめとする行政、中心的に活動されてきた事業者様の協力を得て、大阪グリーン購入ネットワークを立ち上げました。多くの参加者の方々とともに、事業者および消費者支援・環境学習・情報交換・政策提言を行い、大阪地区の実のあるグリーン購入行動を生活の質的向上・経済効果とともに進めましょう。

副理事長 花田真理子 大阪産業大学大学院 人間環境学研究科教授



このたび、グリーン購入ネットワーク(GPN)の9番目の地域組織として、大阪GPNが産声を上げました。グリーン購入は、消費や調達の際に環境に配慮したものを選択することにより、生産者にサインを送り、持続可能な社会への変革をめざす取り組みです。一大消費地であり、製造の拠点を擁し、さらに豊かな自然資源を抱えるこのナニワの地で、様々な主体が手を携えて、真に豊かな経済社会のあり方を求める、そんな活動の輪が広がり始めています。全国の仲間と情報交換しながら、大阪らしく楽しく生きていく、実利も伴う取り組みを、一緒に発信していきましょう！

副理事長 更家悠介 サラヤ株式会社 代表取締役社長



今世界が大きく変化しています。ことに地球人口の増加で、資源の枯渇、気候変動、生物多様性の喪失など、深刻な問題が起こっています。また2011年の震災・原発事故は、日本のエネルギー供給に、深刻な問題を投げかけています。われわれは、想像力を駆使し、問題解決や未来の創造にむけてすばやい手をうち、日本の社会を変革させなければなりません。このたびの大阪グリーン購入ネットワークの設立が、その大きな原動力になればと思います。そして地方自治体や企業は、グリーン購入ネットワークに参加し、大阪から、グリーン購入のうねりと変革を起こしましょう。

事業内容

キャンペーン・イベント事業

グリーン購入について学び、広めるためのキャンペーンを開催します。

見学会事業

施設・工場見学を通し、大阪の地域に根差したグリーン購入についての環境学習を開催。

セミナー事業

情報交換・啓発普及のためのセミナーを開催します。

グリーン購入塾

グリーン購入に精通した人材を育成するため、塾を開講します。

広報普及事業

- ニュースレターの発行
- ウェブサイトの運営
会員企業の環境に配慮した製品・サービスのデータベース化、情報発信を行う
- 展示場への出展
会員企業の環境配慮型製品・サービスを展示。

会員になると

●「GPN News」「大阪GPN-NEWS」のお届け

グリーン購入の最新情報や先進的な取り組み、著名人のインタビューなど、グリーン購入のヒントが満載の「GPN News」、大阪GPNの活動報告、会員の取り組み紹介などを提供する「大阪GPN-NEWS」をお届けします。ウェブサイトや、メール、ファックスでも、情報をお届けします。

●大阪GPNのロゴで環境への姿勢をアピール

環境報告書や名刺、営業ツールなどに、大阪GPNのロゴを掲載することができます。

●大阪GPN主催セミナーなどの参加費割引

大阪GPNが主催するセミナーや研修会、見学会などで、参加割引があります。

●会員交流会で情報交換・ビジネスチャンスの拡大

会員の皆さんが、それぞれの事業や活動を紹介し合う交流会を開催します。ネットワークを広げて情報交換をし、ビジネスチャンスを広げてください！

●グリーン購入ネットワーク(GPN)の会員資格

大阪GPNの会員になると、同時に全国組織であるグリーン購入ネットワーク(GPN)の会員として登録され、地域を越えた活動が展開できます。

●商品検索サイト「エコ商品ねっと」への登録

グリーン購入ネットワーク(GPN)が運営する環境配慮商品の検索サイト「エコ商品ねっと」に、登録することができます。

会費

企業	〈1口：会員1万円〉 企業会員は、従業員数に合わせて複数口のご負担をお願いします 【複数口お願いの目安】 従業員数 500人未満……………1口以上 500人以上 1,000人未満……2口以上 1,000人以上 5,000人未満……3口以上 5,000人以上……………4口以上
	行政
非営利団体 (NGO、生協、財団、 社団法人等)	年間予算規模が5百万円以上……………〈1口：会員1万円〉
	年間予算規模が5百万円未満……………〈1口：会員4千円〉

- 年会費を複数口で負担いただく場合は、口数と同数のニュースレターを追加負担なしでご郵送いたします。
- 個人の方はサポーター会員となります。

入会金

ご入会時に、会費および入会金をお納めくださいますよう、お願いいたします。入会金は、会員種別（企業会員、行政会員、民間団体会員）に応じ、会費と同額といたします。

グリーン購入基本原則

さまざまな製品やサービスのグリーン購入に共通する基本的な考え方

1996年11月7日制定／2001年6月12日改定

① 必要性の考慮 購入する前に必要性を十分に考える

② 製品・サービスのライフサイクルの考慮

資源採取から廃棄までの製品サイクルにおける多数な環境負荷を考慮して購入する

①環境汚染物質等の削減

環境や人の健康に影響を与えるような物質の使用や排出が削減されていること

②省資源・省エネルギー 資源やエネルギーの消費が少ないこと

③天然資源の持続可能な利用

再生可能な天然資源は持続可能に利用していること

④長期使用性 長期間の使用ができること

⑤再使用可能性 再使用が可能であること

⑥リサイクル可能性 リサイクルが可能であること

⑦再生材料等の利用 再生材料や再使用部品を用いていること

⑧処理・処分の容易性 廃棄されるときに適正な処理・処分が容易なこと

③ 事業者の取り組みの考慮

環境負荷の低減に努める事業者から製品やサービスを優先して購入する

①環境マネジメントシステムの導入

組織的に環境改善に取り組む仕組みがあること

②環境への取り組み内容

省資源、省エネルギー、化学物質の管理・削減、グリーン購入、廃棄物の削減などに取り組んでいること

③環境情報の公開 環境情報を積極的に公開していること

④ 環境情報の入手・活用

製品・サービスや事業者に関する環境情報を積極的に入手・活用して購入する

問い合わせ・入会申し込み

大阪グリーン購入ネットワーク事務局

<http://www.osaka-gpn.jp>

〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ATC/ITM棟11F (NPO法人エコデザインネットワーク内)

TEL: **06-6615-5272** FAX: **06-6616-7098**

E-mail: info@osaka-gpn.jp

